

めぐりと紫波

“新世紀未来宣言” 25 年目のスタートダッシュ

日本文化の源流は農村の山ひだにありました。
森の中から水が湧き、人々は集い、集落を形成し、
自然と共存し、自然を崇拜してきました。
厳しい自然に耐えた集落には、
先人の知恵の結晶ともいべき生きるための哲学があり、
連綿と伝えられてきました。
モノを粗末にすることは、すなわち生命を粗末にすることにつながります。

モノを大切にすること、生命を育むところ、
郷土の文化と伝統を伝えていくところを百年後にも引きついでいきます。
母が見た風景を、浴びた陽の光を、感じた風を、清冽な水を、
そして紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で残し伝えていきます。

2025年1月28日片寄地内より 佐藤勇悦撮影

これは、紫波中央駅正面左側に立つ「新世紀未来宣言」(2000(平成12)年6月4日)の一文です。

一般に行政の打ち出す施策は長くて10年(途中、5年目に見直し)というものが多いようですが、当時の紫波町では100年後を見据えて、子どもたちに残すべき紫波町の姿、まちづくりを約束しています。これはひとえに行政のすべき役割を約束したものではありません。100年という長い年月の継続においては、“人づくりが不可欠”という課題を明示していたのではないのでしょうか。

その後、2003(平成15)年には「環境・共生・参加まちづくり表彰」において紫波町は環境大臣賞を受賞しています。この選考にあたって勘案された観点は①環境施策、②地域の活性化、③地域の特徴の活用、④実践的な活動、⑤住民・企業等との協働の5つです。環境課題を単に環境問題としてとらえるのではなく、広く地域、文化、人、生活などの多面的な視点をもって100年後を目標にし、それを継承すべき人材育成によって達成しようと行動してきたのです。そのひとつに「環境マイスター養成講座」があります。環境施策を行政による一方的な情報発信で片付けてしまうのではなく、環境について紫波町が抱える課題を町民が学び、それを自らの実践経験を通じ、町民の視点で発信をし続けてきました。これまでの講座においては、現役紫波町役場の職員、議員や事業者、そして今では高校生まで多岐にわたる人たちが受講し、現在活躍しています。

現在、国連の提唱で進められているSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)に近いものを紫波町ではすでに2000年に取り組みを始めていました。そして、それをすでに25年以上続けてきました。まだまだ先の見えないものもありますが、確実に成果を上げてきたことも数多くあります。今年、新世紀未来宣言25周年を迎えるにあたり、25年前のこの宣言に込められた想いをふりかえり、初心を忘れることなく“循環・共生・参加まちづくり”に改めて町民全員で取り組んでみてはどうでしょうか。

きっと多くの子どもたちの笑顔が誰の心にも浮かぶのではないのでしょうか……。





紫波町
認定店
エコ・ショップしわ
紫波町ごみ減量女性会議
紫波町
認定店
エコ・ショップしわ

当店は
環境を守る
エコ・ショップです！

紫波町内でエコな取り組み
をしているエコ・ショップし
わ認定店をシリーズで紹介し
ています。

今号では「あづまね温泉保養
施設 ききょう荘」をご紹介し
ます。



あづまね温泉
保養施設
ききょう荘

三時間は湯冷めしないと定評のある「あづまね温泉」は
お肌つるつるの美人の湯です



一番人気の「ひつつみ定食」
地元の食材で作ったふるさとの味です

ここがエコポイント!!



ききょう荘所長の羽生広則さん
からお話を聞きました。

施設内からの廃棄物は段ボール
や古紙などは分別リサイクルをし
て、燃やせるごみを削減していま
す。生ごみは「エコ3センター」で
堆肥化しています。

施設内の食堂では、産直から仕
入れた食材でお食事を提供して地
産地消を推進しています。

あづまね温泉保養施設ききょう荘
営業時間：

入浴：午前 10 時～午後 9 時まで

火曜日は午後 8 時まで

休憩：午前 10 時～午後 8 時まで

火曜日は午後 7 時まで

定休日：毎月第 2、第 4 火曜日

場 所：紫波町上松本字内方 96

TEL：019-673-7670

紫波町ごみ減量女性会議の取り組みと解散について

紫波町ごみ減量女性会議は、平成 15 年 10 月に女性の 9 団体で設立され、ごみ減量を含めた環境問題
の課題解決に取り組んできました。「マイバック普及運動」「エコ・ショップ制度の取組み」などの先進的活動
は県内外でも注目を集め、研修の受け入れや講演も行ってきました。

レジ袋の有料化によりマイバックは普及し、3R運動などによりごみの減量化も進んできましたが、ごみ減量
女性会議の活動の成果も大きかったと思われます。

令和 6 年度の総会では、紫波町ごみ減量女性会議の今までの成果をまとめ解散することになりましたが、今
後は各団体で継続してごみ減量の取り組み
をしていくことを確認しました。

長年の活動、ありがとうございました。

長年活動いただいた方に感謝状を
お渡ししました。



左から桂川清子会長、佐々木恵子さん、佐々木意子さん



設立 10 周年の記念写真より

めぐりつと紫波は、紫波町産業部環境課の委託事業で発行しています。